

世界の音楽業界を牛耳っているのは、ユダヤ系のマネージメント企業である。ある国が将来有望なマーケットと見なすと、彼らはその国の若者から才能ある者を見出し、育て上げる。そして彼らを新時代のクラシック界を担う象徴として世界的に売り出し、その若者たちの母国から、アルバムやコンサート売り上げを手にするのだ。

日本もかつて有望な市場と見なされた時代があった。それはすなわち一九六〇年代から七〇年代へかけての高度経済成長期と重なる。その時期のスターが指揮者の小澤征爾氏であり、ピアノの内田光子さんであった。その後は、ヴァイオリニストの諏訪内晶子さんや五嶋みどりさん、五嶋龍さんのご姉弟が続く。まずその国のスターをつくり、のちにそのファンを獲得するのが彼らのやりかたなのだ。

その彼らが以前から注目しているのが、中国なのである。かの国出身のピアノリスト、ラン・ランやユンディ・リなどは、いまや押しも押されぬ売れっ子だ。彼らは確かに才能に恵まれているが、そういった将来へ向けての戦略のために見出されたのであろう。

そういった流れをみてきた私の持論は、いまに世界の名だたるコンクールを制するのは、ほとんど中国人が韓国人になってしまっただろう、ということだ。世界でいちばんクラシックのC

プロフィール
1942年生まれ。作曲家、東京音楽大学教授。東京芸術大学大学院修了。代表作にオペラ「忠臣蔵」、NHK大河ドラマ「太平記」「花の乱」。2004年、ブッチェーニのオペラ「蝶々夫人」を下敷きにしたオペラ「Jr.バタフライ」を初演。2007年、紫綬褒章受章。2008年、モノオペラ「悲嘆」、ピアノ協奏曲「イカの哲学」を初演、日本人初となるブッチェーニ国際賞を受賞。2010年、オペラ「忠臣蔵」外伝、男声合唱曲「最後の手紙—The Last Message」を初演。2011年、渡辺晋賞を受賞。2013年、新作オペラ「KAMIKAZE—神風—」を世界初演した。



西洋音楽が西洋のものではなくなる時代

三枝 成彰

Dが売れるのは、いまだに日本である。しかし、それも頭打ちとなった現在、次に売れるのはどこか？ 中国を考えるのはごく自然なことである。

ロリン・マゼールのようなクラスの指揮者ともなれば、一晚のギララが五〇〇万円とも言われる。年に一〇〇日コンサートがあるとして、五億の年収だ。一見多いと思うが、最高峰でその金額ならば、投資顧問のファンドマネージャーのほうが、優秀ならば若くてもそれよりずっと多い成功報酬を得ることができるといえる。

かつて貧困層出身や外国からの亡命者が、社会的な地位と名声を得る手段として音楽やスポーツを選び、懸命にそれに打ち込んで成功した時代があった。しかしいまは違う。市場の低成長と自らの努力とを差し引きしたとき、見合つものではなくなったのだ。

アメリカのFRB（連邦準備銀行）の元総裁グリーンズパン氏は、じつはジュリアード音楽院出身のクラリネット奏者であるが、音楽市場が将来伸びないことを予測してか、途中でニューヨーク大に学び、経営コンサルタントの道歩んだ。氏のように欧米では音楽の道での将来に見切りをつけて他業界へ鞍替えする若者が増えている。西洋音楽の担い手と買い手が西洋人である時代が、すぐそこまで来ているのである。



3月号目次

- | | |
|---|--|
| <p>1 エッセイ 千文字
西洋音楽が西洋のものではなくなる時代
三枝 成彰</p> <p>2 特集
[特別展] マダガスカル 霧の森のくらし</p> <p>2 みたことのある異郷
——特別展「マダガスカル 霧の森のくらし」のねらい
飯田 卓</p> <p>6 何処にでもある何処にもない世界 深澤 秀夫</p> <p>7 霧の森とは 吉田 彰</p> <p>8 マレーシアの森の人とマダガスカルの森の人
内堀 基光</p> <p>9 アントエチャ村での上映会 川瀬 慈</p> <p>10 研究フォーラム
アンダマン島民の現在——スマトラ島沖地震の6年後
池谷 和信</p> <p>12 みんぱく Information</p> | <p>14 地球ミュージアム紀行
大草原の小さな博物館
——カザフスタンにおける博物館活動と教育活動をつなぐ試み
藤本 透子</p> <p>16 追悼
中村俊竜 民博名誉教授を偲ぶ
近藤 雅樹
祖父江孝男 民博名誉教授を偲ぶ
中牧 弘允</p> <p>18 多文化をあきなう
お金のためだけでない、絆のなかで働くこと
奥谷 京子</p> <p>20 異聞逸聞
ネコを食う
森山 工</p> <p>21 みんぱく私の逸品
ザフィマニリの女性用帽子
上羽 陽子</p> <p>22 フィールドで考える
タンザニアのハニー・コレクター
八塚 春名</p> <p>24 次号予告・編集後記</p> |
|---|--|